

# 建築資格研究会

## 1. 建築資格研究会とは

建築資格研究会は、建築業界に長年勤務した仲間5名<sup>※1</sup>が、「**建築を志す若い方の育成に少しでも寄与したい**」という趣旨から2015年1月1日に設立しました。若い方に聞き取り調査をした結果、多くの方から「**一級建築士の格安講座を開いてもらいたい**」との意見<sup>※2</sup>があった。そこで、「**1級建築士**」の講座をインターネットを通して**無料**で提供しようとなり、実行委員5名の寄付金200万円によりHPを開設しました。2015年の1年間は全て無料で公開したが、HPの維持管理費と過去問の使用許諾<sup>※3</sup>のため、2年目から年会費のある「**会員講座**」を追加しました(年会費**2万円/年**)。会費は、HPの維持管理費のみに使用し、資料は実行委員が無償で作成している(研究会は利益を追求する企業ではない)。

※1 仲の良い友人5名(全員1級建築士、内1名構造設計1級建築士、1名設備設計1級建築士)で研究会を立ち上げた。

※2 1級建築士取得に2~3年資格学校(100万円以上)へ通学しているが合格できず、独学も自信が無く、格安で学べるネット講座の開催意見が多かった。

※3 過去問は、公益財団法人建築技術教育普及センター(以下、センターと言う)から会員講座で公開することを条件に使用許諾を受けている。

## 2. 聞き取り調査での要望

2014年に実施した1級建築士の聞き取り調査では、次の要望が集まった。

- ① 業務が忙しく時間が取れないので、**過去問20年**等が一目で見れるような資料を取りまとめて頂きたい。
- ② 通勤時には**スマホ**、昼休みは**パソコン**で何時でも何処でも見れる講座にして頂きたい。
- ③ 他社多くの講座は、数十万円と高額なため、**無料**か、それが無理なら年会費を1ヶ月のお小遣い程度にして欲しい。

## 3. 2級建築士、設備設計1級建築士、構造設計1級建築士の追加

2016年には、多くの方から「2級建築士、設備設計1級建築士、構造設計1級建築士」の講座も開設して頂きたいとの意見があった。それを受け2017年センターから過去問の使用許諾を受けて講座を追加した。ただし、構造設計1級建築士については、(社)日本建築構造技術者協会から格安(4千円/冊)で過去5年間の解答書が販売されていることを推奨し、2019年から掲載を停止することとしました。

## 4. 「ひと休み建築実務の話」の組み込み

研究会は、当初「建築実務の解説」をするHPを作りたいかった。しかし、聞き取り調査の結果、「建築実務の話」よりも「1級建築士の資格講座」にして欲しい要望が大多数であった。実行委員からは、「約30年の実務ノウハウを何らかの形で伝えたい」となり、建築実務に役立つテーマを抽出し、「ひと休み建築実務の話」として組み込みました。資格は今取得すべきものであるが、実務は一生を掛けて身に付けるものである。企業に長年勤めると、その企業、業界の立場を踏まえて、本来の純粋な技術をオブラートに包み、企業を優先した情報公開となる傾向がある。ここでは、建築実務について、全てのしがらみを取り除き**純粋な技術**として解説することにした。

## 5. HPのメリットとデメリット

HPの**メリット**は、次の通りである。

- ① スマホ&パソコン(PDF打出可)で何時でも何処でも自分のペースで見れる
- ② 資格学校で学べない一歩先の資料を提供(学科:過去問20年一覧表、製図:80%以上の中する予測課題等)
- ③ この種の講座としては極めて安価(HP会費2万円/年、資格学校への通学なら30~70万円/年)

**デメリット**は、次の通りである。

- ① 資格学校のような対話型でない(HP資料での公開のみ)
- ② 利益を求めた企業ではないので迅速な対応ができない
- ③ 毎週月曜日に追加アップする手作り感を脱却できない

## 6. おわりに

当講座を開設して早5年となりました。当初、HP来訪者は約10名/日でしたが、現在500名/日を超えている(会員は累計300名超え)。

多くの方からご連絡を頂く中で、「学科で2年、製図で3年学校に通い、200万円以上を掛けても合格できず、もうあきらめようとしたとき、当講座をネットで見つけて再度学科からチャレンジしようという気持ちになった」と言うメールを頂きました。当講座は、そのような方にも**再度試験にチャレンジ**したいと思えるようなHPにする。また、1級建築士の製図試験は、合格者の9割<sup>※4</sup>が資格学校に通学している方である(資格学校の合格率は約50%強<sup>※5</sup>)。当HPは、通学しない方も合格できるような、また通学している方も通学者の約半数が不合格(製図試験)となる厳しい現実があることから、併用活用頂くことで隣の方に勝てる講座にしたい。

※4 H27製図合格者3,774名、公表されたS社2,149名とN社1,145名で合格占有率87%、非公表含め約9割が資格学校と想定。

※5 2014年~2015年の数百名からの聞き取り調査を踏まえ、資格学校の合格者は約50%と想定(占有率ではない、出席率\*\*%等の条件無しでの合格率)。

他方、研究会は利益を追求する企業ではない。実行委員5名は全員が現役サラリーマンであり、資料作成は休日等に行っている。HPは皆様からの意見を取り入れ、毎週月曜日追加アップするというスローペースで申し訳ないが、より良い講座となるよう地道に更新していく。なお、事務局は、1日1回必ずメールを見るようにしているが、メールの対応では時間を要することもあるので、ご理解下さい(電話対応はしていない)。おわりに当研究会は、宣伝に十分な費用を掛けられない。会費は、HPの維持費のみに使用しているが、会員の増加に併せて会費が増えた場合、「音声解説の外注費」に充当していく。HPを公開しても利用して頂けないと意味がないので、皆様から**口コミ宣伝**をして頂ければ幸いである。